

取扱説明書

イージー ジーティーエム
EASY-GTM

PULVERISETTE 7 premium line

ガス圧力および温度測定システム：
粉碎プロセス及びメカニカルアロイング用の制御容器

有効シリアルナンバー：

50.9020.00、50.9040.00、50.9050.00、50.9060.00、50.9070.00、50.9080.00、50.9090.00



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
日本語翻訳の取扱説明書

<製造元>

Fritsch GmbH
Milling and Sizing
Industriestraße 8
D - 55743 Idar-Oberstein
Telephone: +49 6784 70-0
Email: info@fritsch.de
Internet: www.fritsch.de

<日本総合代理店>

フリッチュ・ジャパン株式会社
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町 252
グランベル横浜ビル 6 階
TEL : 045-641-8550
FAX : 045-641-8364
Mail : info@fritsch.co.jp
URL : <https://www.fritsch.co.jp>

認証と CE 適合

認定

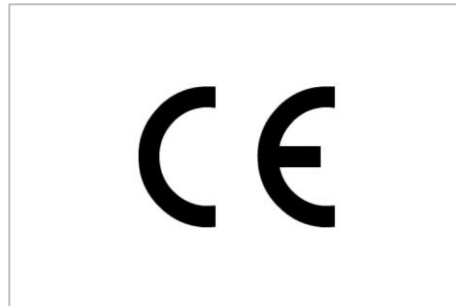
Fritsch GmbH は、SGS-TÜV Saar GmbH によって認定されています。



Fritsch GmbH が DIN EN ISO 9001 : 2015 の要件に準拠していることを監査が証明しました。

CE 適合

同封の適合宣言には、CE マークを付けることができるように FRITSCH 機器が準拠するガイドラインが記載されています。



目次

1	技術データ	5
1.1	この取扱説明書について	5
2	EASYGTM ガス圧力および温度測定システム	6
2.1	ケースの内容とシステム設計	6
2.2	バッテリーの挿入/交換	6
2.3	送信機 ID とデータ送信頻度の設定	8
2.3.1	送信機検出の調整オプション	9
2.3.1	送信周波数設定オプション	9
2.4	EASY-GTM 容器へのトランスミッションユニットの取り付け	10
2.5	PL-7 プレミアムラインへのレシーバーボードの取り付け	11
2.6	EASYGTM のアクティブ化	12
2.7	温度制限の入力	13
2.8	圧力制限の入力	14
2.9	動作モードの選択	15
2.10	EASYGTM の無効化	15
2.11	EASYGTM システムの清掃	16
2.11.1	センサーの清掃とシールの交換	17
2.12	バッテリーの配置	17
3	一般的な安全性	19
3.1	一般	19
3.2	担当者の資格	19
3.3	使用の適合性	19
3.4	メンテナンス	19
3.5	安全確認	20
4	責任の除外	21
5	保守点検記録	23

1 技術データ

1.1 この取扱説明書について



この機器はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に準拠したクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、機器が商業環境で操作されている場合に有害な干渉に対して合理的な保護を提供するように設計されていません。

この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

FCCID は WAFAMB2520T です。

評価ソフトウェアは、WINDOWS XP/ 7/10 ©オペレーティングシステムで動作します！

EASYGTM圧力測定範囲	0 bar ~ 約 30 bar
容器内の許容圧力	0 ~ 20 bar
測定-溶解EASYGTM	1 mbar
測定率	最大 4 つの値/秒
温度範囲トランスミッターユニット	-40°C ~ 110°C
充電されたアキュでの動作時間	作動温度にもよりますが、連続運転で約 1/2 年
データ転送	USB またはオプションのレシーバーUSB スティック
ラジオ-転送	2.4 GHz
ラジオに到達する-転送	通常、建物内 15m
バッテリー	AA 1xEnergizer®UltimateLithium (81.0022.00)
圧力測定の変更	<+/- 0.5%
温度依存性	<+/- 1%
圧力ヒステリシス	<+/- 0.1%

2 EASYGTM ガス圧力および温度測定システム

EASY GTM ガス圧力および温度測定システムは、粉碎プロセスの制御とメカニカルアロイングに使用されます。

告知！

直径 1mm 以下の研削ボールを使用すると、フタの貫通穴が詰まり、圧力や温度の測定に支障をきたす恐れがあります。それでもこれらのボールサイズを使用する場合は、観察せずに粉碎プロセスを実行してはなりません。中間のフタは、粉碎プロセス中に定期的にチェックする必要があります。MillControl ソフトウェアを使用すると、圧力と温度が表示されます。圧力が一定のままである場合、この原因は中間のフタの詰まりである可能性があります。

2.1 ケースの内容とシステム設計



- 1 2,6Nm トルクスパナ+六角ビット
- 2 EASYGTM システム
- 3 フラットシールリング
Viton 製 57,5 x 48 x 1 (50.9888.15)
- 4 Oリング、21x2,5
- 5 六角オフセットドライバー、2.5 mm

- 6 六角ドライバー、3 mm
- 8 測定/伝達ユニット
- 9 フタ
- 10 容器
- 11 6本のソケットヘッドネジが付いた
ロックリング

2.2 バッテリーの挿入/交換

初めて挿入する時、またはその後のバッテリーの交換時に、次の手順に従います。



- 1 ボタン (A) を使用して無線システムの電源を切ります。LED (B) が消灯します。



- 2 次に、六角ドライバー (6) を使用して、システムを閉じるための 6 本のソケットヘッドネジ (C) を放します。これで、6 本のソケットヘッドネジが付いたロックリング (11) を取り外すことができます。(第 2.11 章「EASYGTM システムのクリーニング」を参照)



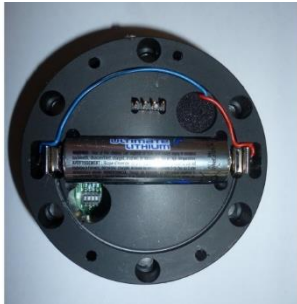
- 3 測定/伝達ユニット (8) を容器 (10) から慎重に持ち上げます。



- 4 フタ (9) がユニットにある場合は、手で解放して横に置きます。フタは通常容器 (10) に残ります。



- 5 サイズ 2.5mm (5) の六角ドライバーを使用して、バッテリーコンパートメントの 2 本のネジ (D) を外します。



- 6 バッテリーコンパートメントのフタを持ち上げて横に置きます。バッテリーコンパートメントが見えます。

告知！

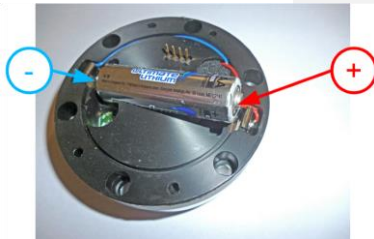
バッテリーは正確に所定の位置に収まり、ある程度の力を加えて押し込む必要がある場合があることに注意して下さい。

バッテリーの耐用年数は、無線プロトコルの周波数（構成を参照）と、基本的には粉碎容器内の温度に依存します。

バッテリーの充電レベルにも注意して下さい。バッテリーの容量が 10% を下回った場合は、すぐに交換する必要があります。

- 7 古いバッテリーを取り外し、新しいバッテリーを挿入します。

電池の種類：1.5V/AA リチウム



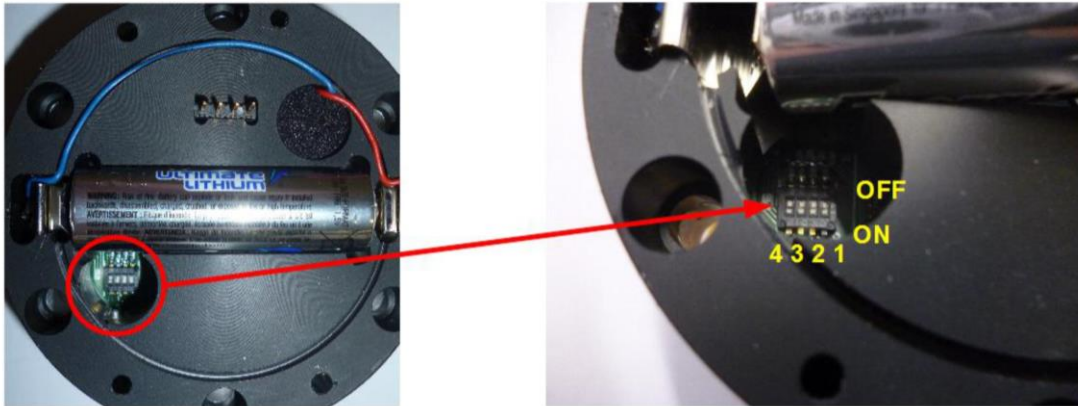
バッテリー(電池)を入れるときは極性に注意して下さい！



- 8 バッテリーコンパートメントを閉じて下さい！
プラグの接点が正しい位置にあることを確認して下さい！

2.3 送信機 ID とデータ送信頻度の設定

測定/送信ユニットには、送信機 ID とデータ送信周波数を設定するための 4 つの構成スイッチが装備されています。



表示されているスイッチはすべてオフです。(アクチュエータカムはオフに設定されています)

2.3.1 送信機検出の調整オプション

納品状態では、すべてのスイッチが OFF になっています。この場合、容器 1 と 1 秒の送信周波数が設定値であることがわかります。ID1 の容器も、指定された装置の位置 1 に挿入する必要があります。同様に、ID2 の EGTM システムは、装置の位置 2 に配置する必要があります。

ID	Switch 1	Switch 2
Transmitter no.1	OFF	OFF
Transmitter no.2	ON	OFF



他のスイッチ設定が設定されている場合、EASY-GTM システムは認識されません。表に示されている設定がシステムで使用されていること、およびそれらが装置内の正しい位置で使用されていることを確認して下さい。

2.3.1 送信周波数設定オプション

送信間隔	Switch 3	Switch 4
1 秒	OFF	OFF
1/2 秒	ON	OFF
1/4 秒	OFF	ON
自動	ON	ON

1 秒間隔がデフォルト値です。

自動の場合、圧力や温度が急激に変化した場合、1/2 1/4秒のトランスミッション周波数が切り替わられます。

送信間隔は、バッテリーの耐用年数にも影響を与えます。1 秒間隔で最長の期間が得られます。

送信周波数も視覚的に確認できます。送信ユニットの電源を入れるとすぐに、データが送信されるたびにスイッチが点滅します。

2.4 EASY-GTM 容器へのトランスミッションユニットの取り付け

告知！



EASY-GTM システムを安全に固定できるように、容器内のネジ穴、通路穴、およびロックリングのアレンネジは、粉碎するたびに完全に清掃する必要があります。

EASY-GTM システムを装置へ挿入する前に、EASY-GTM システムを次のように組み立てる必要があります。



- 1 ガasketを容器に挿入して下さい！
ガasketを置く面とガasketはきれいにして下さい。



- 2 中間フタを挿入して下さい！

告知！



EASY-GTM システムを安全に固定できるように、容器内のネジ穴、通路穴、およびロックリングのアレンネジは、粉碎するたびに完全に清掃する必要があります。



- 3 送信機に O リングを取り付けて下さい！



- 4 ソケットヘッドのネジをトルクスパナで十字方向に仮止め程度に締めます。安全の為、すべてのネジを仮止めした後に、もう一度、すべてのネジを再度締めます。

トルクスパナを締め付けていくと、カチッ！と音がして、適正トルクにしまったことを知らせます。これにより、すべてのネジは粉碎プロセス中に緩まないように固定されています。



Fritsch GmbH は、緩んだネジでの研削による損傷については保証しません。

- 5 オン/オフボタン (A) で変換器の電源を入れ、PL-7 プレミアムライン (装置) の取扱説明書の「粉碎容器を粉碎容器ホルダーに挿入する」の章に記載されているように容器を挿入します。



告知！
容器を挿入した後、トランスミッションユニットの取り付けを再度確認して下さい。



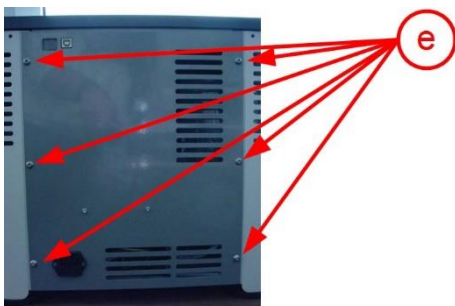
告知！
粉碎中、一時停止中、トランスミッションユニットのアレンネジの正しい位置を確認する必要があります。ネジが緩んだ場合は、締め直して下さい。

2.5 PL-7 プレミアムラインへのレーザーボードの取り付け

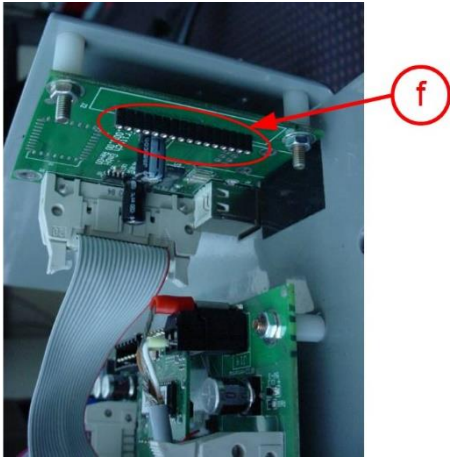


危険

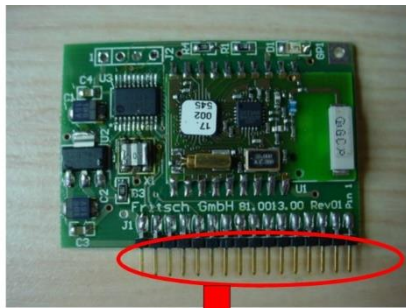
インストールを開始する前に、電源コードを外して意図せずに電源が ON にならないように装置を保護して下さい。警告サインのある安全な設置作業。



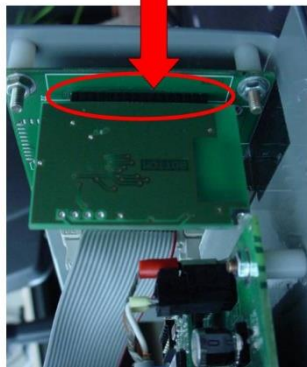
- 1 リアパネルをハウジングに取り付けるために使用した 6 本のネジ(e)を外し、リアパネルを慎重に開きます。



- 2 PKM インターフェイスボード (81.0011.00) は背面パネルにあり、レーザーモジュール 81.0013.00 用のスロット (f) があります。



- 3 対応するスロットにレーザーモジュールを挿入します。
(図のように)
- 4 ハウジングの背面パネルをもう一度閉じて、しっかりとねじ込みます。

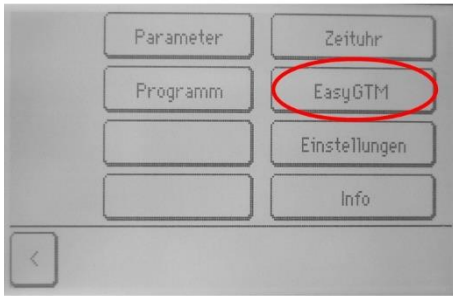


2.6 EASYGTM のアクティブ化

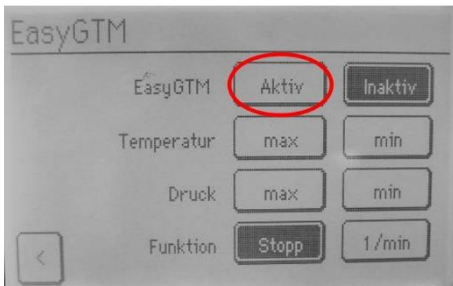
デバイスが SOP モードで保護されている場合 (PL-7 プレミアムライン (装置) の取扱説明書の「標準操作手順」を参照)、P-7 Premium Line(装置)の管理者に連絡して下さい。このモードを無効にする必要があります。無効にしないと、すでに保存されているプログラムのみをロードして操作できます。EASY GTM システムをアクティブ化するには、次の手順に従います。



- 1 メニューを選択します。



2 「EasyGTM」サブメニューを選択します。



3 EASYGTM をアクティブにします。



4 反転したボタンは現在のステータスを示します。

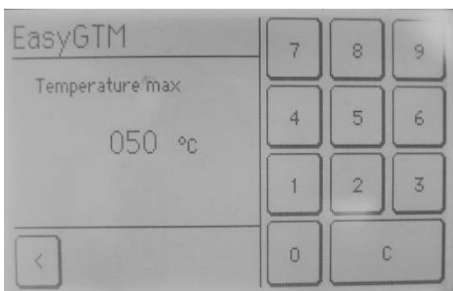
2.7 温度制限の入力



1 最高温度入力を選択します。



最高温度に達すると、デバイスは粉碎プロセスを停止して、冷却モードになります！
動作モードの設定に応じて、第 2.9 章「動作モードの選択」を参照して下さい。デバイスは、最適な冷却効果を達成するために、粉碎プロセスを停止し、粉碎チャンバーのカバーを開くか、最小速度に達するまで速度を徐々に下げます。



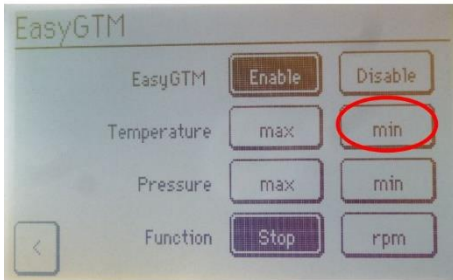
2 必要な最高温度制限を入力します。



危険！
最高温度の 125°C を超えないで下さい。そうしないと、EASYGTM システムと装置が損傷します。

3 [<]ボタンを押すと、入力した値が決定されて、EASYGTM サブメニューに戻ります。

4 最低温度入力を選択します。

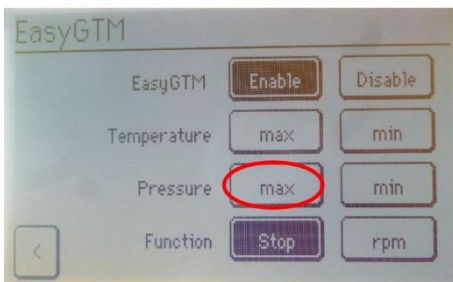


冷却段階で選択した最低温度（例：60° C）に再び達すると、装置は粉碎プロセスを再開します。



- 5 必要な最低温度制限を入力します。
- 6 [<]ボタンを押すと、入力した値が決定されて、EASYGTM サブメニューに戻ります。

2.8 圧力制限の入力



最大圧力に達すると、デバイスは粉碎プロセスを停止して、冷却モードになります！
動作モードの設定に応じて、第 2.9 章「動作モードの選択」を参照して下さい。デバイスは、最適な圧力低下を達成するために、粉碎プロセスを停止し、粉碎チャンバーのカバーを開くか、最小速度に達するまで速度を徐々に下げます。

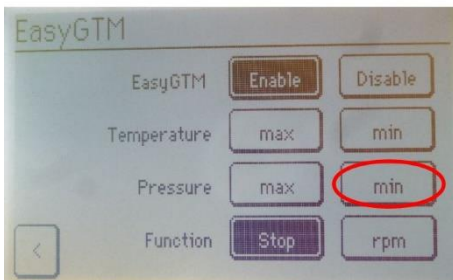


- 2 必要な最大圧力制限を入力します。



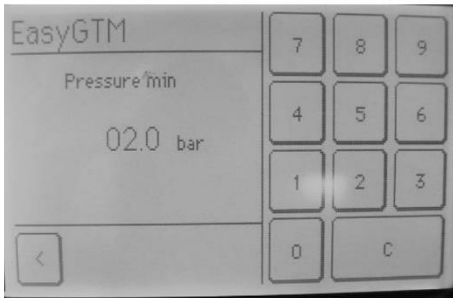
危険！
最大圧力の 20 bar を超えないで下さい。そうしないと、EASYGTM システムと装置が損傷します。

- 3 [<]ボタンを押すと、入力した値が決定されて、EASYGTM サブメニューに戻ります。



- 4 最小圧力を入力を選択します。

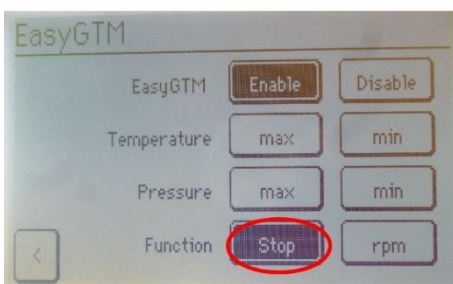
- 5 必要な最小圧力制限を入力します。



冷却段階で選択した最小圧力（例：2 bar）に再び達すると、装置は粉碎プロセスを再開します。

- 6 [<]ボタンを押すと、入力した値が決定されて、EASYGTM サブメニューに戻ります。

2.9 動作モードの選択



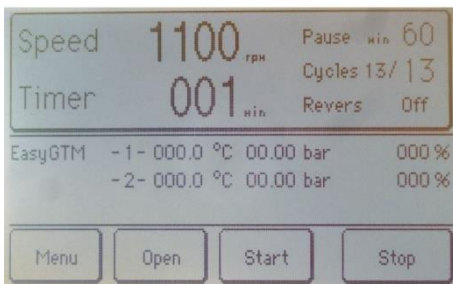
機能メニュー項目を使用して、到達した温度または圧力制限に PL-7 プレミアムラインがどのように応答するかを選択できます。

rpm :

この設定では、PL-7 プレミアムラインは徐々に速度を最低速度まで下げます。これらの2つの制限設定を大幅に下回ると、デバイスは加速して動作速度に戻ります。

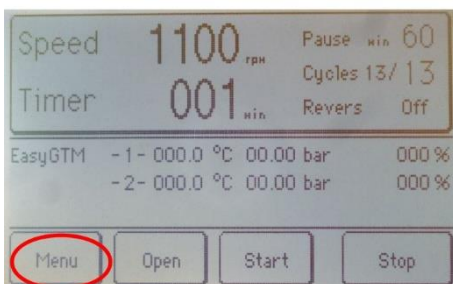
stop :

2つの制限のいずれかに達すると、すぐに装置はすぐに停止します。制限に達していない場合、再始動は無効になります。「<」ボタンを押すと、入力したすべての値や設定が決定されて、メインメニューに戻ります。

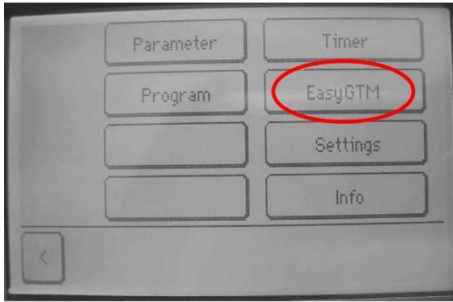


2.10 EASYGTM の無効化

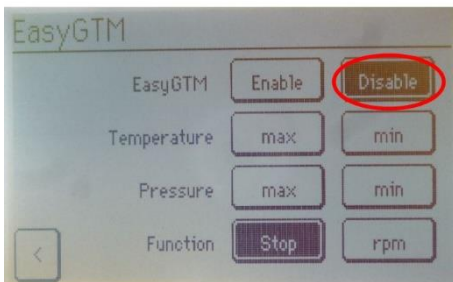
EASYGTM システムを無効にするには、次の手順を行います。



- 1 メニューを選択します。



2 「EasyGTM」サブメニューを選択します。



3 EASYGTM を無効にします。

4 [<]ボタンを押すと、設定が決定されて、メインメニューに戻ります。

2.11 EASYGTM システムの清掃

告知！

EASYGTM システムを安全に固定するためには、容器内のネジ穴、通路穴、およびロックリングのアレンネジは、粉碎するたびに完全に清掃する必要があります。

告知！

測定/伝送ユニット（8）を水に浸してはいけません。必要に応じて湿らせた布でこすり落として下さい。



測定/伝送ユニットのネジを含むロックリング（11）を取り外し、完全に清掃します。



ネジにはスナップリングが付いており、ロックリング（11）からの脱落を防ぎます。スナップリングの位置に注意して下さい！（写真を参照して下さい！）

ロッキングリングを挿入して下さい！



通常、フタは容器（10）に残ります。

フタ（9）が測定/送信ユニット（8）にある場合は、手で外してから清掃して下さい。フタ（9）と容器（10）は、PL-7プレミアムラインの取扱説明書の「粉碎要素」の章に記載されているように、流水で洗浄できます。



2.11.1 センサーの清掃とシールの交換



センサー（G）に機械的なストレスをかけないで下さい。センサーの清掃は、濡れた布で拭いて下さい。Oリング（5）は必要に応じて交換できます。

2.12 バッテリーの配置

「2006年9月6日現在の欧州議会および欧州議会の指令2006/66/ECによる、電池および充電式電池、古い電池および古い充電式電池、および指令91/157/EECの廃止に関するもの」および第1条2009年6月25日現在の電池および充電式電池（BattG）の製品責任に関する廃棄物法の再定義に関するドイツ法の§18および第2条では、製造業者として法的に消費者としてあなたに以下の内容を通知する義務があります。以下：

当社が販売する Easy GTM 製品には、1 階の放電のみできるタイプ AA、1.5V のリチウム電池が含まれています。電池が消耗した場合は、家庭ごみと一緒に捨てられない場合があります。古い電池には、環境を汚染したり健康を害したりする可能性のある有害物質が含まれている可能性があります。電池は地域のリサイクル場所/回収場所に廃棄して下さい。放電した/消耗した電池は、廃棄専用の容器を用意して保管及び廃棄して下さい。さらに電池の端子を粘着テープで覆って下さい。

すべての電池と充電電池は再利用されます。従って、亜鉛、鉄、ニッケルなどの貴重な物質をリサイクルすることができます。電池のリサイクルは、最も簡単な環境保護対策の 1 つです。取り消し線の付いたごみ箱のマークは、(充電式)電池を家庭ごみと一緒に廃棄できないことを意味しています。

【日本の場合、お住まいの自治体の指示に従ってリサイクルや廃棄して下さい】

3 一般的な安全性

3.1 一般

この取扱説明書は、上記の Fritsch アクセサリを設置、操作、および保守するための技術的な資格を持つ担当者を対象としています。上記の Fritsch アクセサリを正しくメンテナンスするために必要なすべての情報が含まれています。この取扱説明書の内容は契約上のものではなく、いかなる状況においても契約保証条項を延長または制限することはできません。

3.2 担当者の資格

上記の Fritsch アクセサリの設置、操作、または保守は、資格のある担当者のみが許可されています。資格のない人が行った作業、またはこのドキュメントまたは機器の安全指示に従わなかった場合、作業者の安全が危険にさらされ、機器に修復不可能な損傷を与える可能性があります。次の担当者は「資格がある」と見なされる場合があります。

- Fritsch 機器の調整と修理の訓練を受け、経験を積んだ担当者（たとえば、設置エンジニア、販売後サービスエンジニアなど）。

3.3 使用の適合性

この取扱説明書に記載されている製品は、それらが適用される欧州指令（CE マーキング）に準拠しています。ただし、これらは、対象となるアプリケーション（さまざまなドキュメントで説明されている）のコンテキストでのみ正しく使用できます。すべての取り扱い、輸送、および保管の仕様を順守し、設置、操作、および保守に関するすべての指示に従えば、製品は人員や機器に危険を及ぼすことなく適切に機能します。

3.4 メンテナンス

機器のメンテナンスを行う場合は、以下のルールを遵守して下さい。

- 安全上の指示に従う必要があります。これらの手順は、ドキュメントまたはインストールおよびセットアップされている機器に記載されています。
- 機器の操作を行う前に、必ず電源を切して下さい。
- 機器の電源を入れる前に、公称電圧をチェックして、地域の供給電圧に適合するように調整されていることを確認して下さい。
- 電力の戻りが人員や設備に危険を及ぼす可能性のある危険な状態を引き起こさないように、あらゆる対策を講じる必要があります。
- 非常停止および安全装置は、異常な動作中（たとえば、ワイヤが切断されたとき）でも、すべての機器の動作モードで有効であり続ける必要があります。これらのデバイスをリセットすると、制御されていない、または不適切な再起動が発生してはなりません。
- 機器が意図しない操作から保護されていることを確認して下さい。
- 信号が受信されない場合、機器の不適切な状態を防ぐために、入力と出力（ファンクションキーを含む）に対して適切な安全対策を講じる必要があります。
- 信号を伝送するケーブルは、機器の機能に容量性、誘導性、または電磁干渉を引き起こさない場所に配置する必要があります。
- 低電圧回路では、電源に常にアース接続が必要です。低電圧回路を保護する必要があります。

3.5 安全確認

BGVA3（専門家協会の事故防止規則）では、電気設備および固定/移動機器の電気安全基準が義務付けられています。これらの規制に従った安全チェックは、機器の納品前に Fritsch によって行われ、文書化されました。

メンテナンス後の電気安全（eS）の検査には、次の 2 つの基準を使用する必要があります：

- 修理および保守のための VDE0701/VDE 0701 によると、修理、サービス、または保守作業が必要になった後、ユニットの充電部が含まれている場合は、BGVA3 に従って関連する専門家による検査を行います。それ以外の場合は、サービスレポートで、基本的なメンテナンスのみが行われ、BGVA3 が実行された後の安全検査は行われていないことに注意して下さい。
- 再評価のための VDE0702 オペレーターは、年に 1 回、専門家による VDE0702 に従って適切なテストを指示する責任があります。このレビューは、特定の情報を使用した強制テストで、機器のプラークによって示されます。VDE0702 の電氣的安全性の検査は、資格のあるサービス担当者がオペレーター/ユーザーへの申し出としてのみ行うことができます。

4 責任の除外

製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書を読んで下さい。

製品の使用には技術的な知識が必要です。商用利用のみが許可されています。

この製品は、この取扱説明書に記載されているアプリケーションの範囲内およびこの取扱説明書に記載されているガイドラインの枠内でのみ使用でき、定期的なメンテナンスの対象となる必要があります。コンプライアンス違反、不適切な使用、または不適切なメンテナンスの場合、お客様は、製品の機能的機能、およびこれらの義務の違反に起因する損傷または傷害について全責任を負います。

この取扱説明書の内容は、完全に著作権法の対象となります。Fritsch の事前の書面による同意なしに、この取扱説明書とその内容の一部または全部をコピー、さらに配布、またはいかなる形式でも保存することはできません。

この取扱説明書は、当社の知る限り作成されたものであり、印刷時に正確性を確認しています。FRITSCH GMBH は、適用法または法学によって責任が明示的に規定されていない限り、商品性および特定目的への適合性の黙示の保証を含むがこれらに限定されない、この取扱説明書の内容の正確性または完全性について一切の保証または責任を負いません。

FRITSCH GMBH は、事前の通知なしにこの取扱説明書を変更および/または更新する権利を明示的に留保します。この取扱説明書に記載されている製品の改造や改良についても同様です。この取扱説明書の最新バージョンを使用していることを確認するのは、ユーザーの責任です。詳細については、最寄りの FRITSCHGMBH 販売代理店または FritschGmbH、Industriestr にお問い合わせ下さい。8、D-55473Idar-Oberstein。

ここに示されているすべての部品が必ずしも製品に取り付けられているわけではありません。購入者はこれらの部品を配達する権利がありません。興味のある方は、最寄りの FRITSCHGMBH 販売代理店または FritschGmbH、Industriestr にお問い合わせ下さい。8、D-55743 イダーオーバーシュタイン。

FRITSCH GMBH は、製品の品質、信頼性、安全性が継続的に改善され、最先端に適合していることを保証するために細心の注意を払っています。提供されている製品とこの取扱説明書は、FRITSCHGMBH の影響範囲を離れるときの現在の最先端技術に準拠しています。

製品を使用することにより、お客様はこれに同意し、欠陥、誤動作、またはエラーを完全に排除することはできないことを認識します。この原因またはその他の原因による人や財産への損害、またはその他の直接的または間接的な損害のリスクを防ぐために、お客様は製品を使用するための十分かつ包括的な安全対策を実施する必要があります。

Fritsch GmbH は、損害を補償する責任、保証、またはその他の義務を除外します。この責任、保証、またはその他の義務が明示的または暗黙的、契約上、または違法行為に起因するか、契約上、法律またはその他の方法で規定されているかどうかは関係ありません。いかなる場合も、購入者は、利益の損失、貯蓄の損失、売上の損失、またはあらゆる種類の金銭的損失を含むがこれらに限定されない、特別、直接的、間接的、偶発的、または結果的な損害について、Fritsch GmbH からの補償を受ける権利を有しません。第三者、ダウンタイム、のれんの喪失、機器および資産の損傷または交換、製品または

当社製品の使用に関連する材料または商品の費用または復旧、その他の人的損害または負傷（致命傷を含む）または類似。上記の責任の除外は、法律または法学によって規定されている法定責任によって制限されます。過失に対する責任はすべての場合に除外されます。

特許、ブランド、またはその他の著作権の使用について、明示的、暗黙的、またはその他の方法で許可は与えられていません。また、本製品の使用に起因する著作権侵害または第三者の権利侵害についても責任を負いません。

この取扱説明書への準拠も、製品のインストール、操作、使用、および保守中に使用される条件と方法も、Fritsch GmbH は監視できません。設置の不適切な実行は、物的損害を引き起こし、人を危険にさらす可能性があります。したがって、設置時のエラー、不適切な操作、不適切な使用、不適切なメンテナンスに起因する、またはこれらに関連する損失、損害、または費用について、当社は一切の責任を負いません。

<日本総合代理店>

フリッチュ・ジャパン株式会社

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町 252

グランベル横浜ビル 6 階

TEL : 045-641-8550

FAX : 045-641-8364

Mail : info@fritsch.co.jp

URL : <https://www.fritsch.co.jp>

Date: 2022/06/27